

【刊夕日八十二月一】



日曜大祭日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日 三十一日

平水道工事に一頓座

約束の砂利が出ない 粒形が大きいので苦情 二十七日平町で再協議

平町が水道擴張工事に用いるべき若干の狼狽を呈してある。ラスを隣接好間川の所望に好間川の砂利採取権は平より同村失業救済の意図町に取得されてゐるので結局同町の希望に應じない。九圓コンクリート用の洗砂合は別に採取者を契約するか又は他より之れを氷むる利甘圓に

請負契

約せるは會報の如くであるが最近愈々珠取出荷に當つて當時約束したるものよりも粒形が大きい爲め使用側の平町から苦情を招きたるに對し好間村では是れ以上の

平署管内の執行猶豫

昨年未の現 在が十六名

中署に於ける昨五年の刑の執行猶豫者は前年からの該人員男一九名及び當年の該人員男二九名女二名で他から入居せるもの男五期満了男一三出住したるもの男五女一(死亡)年未現在男女合せて十六名である

來月上

旬沈澱池及び配水池共に堀鑿を了すると同時にコンクリートの着手を控いて約七百坪に達する砂利の需要を夫れ迄に交渉が纏まらなければ工事に

平旅館組合 通常總會

二十七日開催 終つて新年會

支障な

きを保し難 平町の旅館組合では廿七日午後一時から中署警察室に

泊めた乞食が 翌朝佛様

驚いて平署に 届出でる

石城郡神谷村の中神谷鈴木吉松方に於て去廿七日夜嘯息に病んで困つてゐると一時の休養を請ふ憐れな乞食の男があるのので之れを同宿し屋内に一夜の宿をかし翌朝同人の模様を見ると死亡してゐるので大に驚き平署に届け出たが身元不明の爲め検視の上同村の假埋葬に附された

校長會

濱三郡の 來る三、四 兩日平町で

濱三郡の小学校校長會は二月三、四の兩日平町第一小學校に於て開催されるが當日は本縣事務課からも町字鎌田町目黒福次(三)は教員臨時席の管で地元石城の教育會では歓迎その他の準備に忙殺されてゐる

職業選擇に専心して 就職後を省みられぬ

求職斡旋後の學校當局 も少し力を入れて欲しい

中町職業紹介所が小學校卒年に大差ない求職人口を得る業者の就職斡旋期を控いてゐる見込であつて大した不承る廿九日午前十一時から景氣の影響を悲觀されては都内十三小學校との聯絡協働ないが從來の就職率に鑑みれば求人申込を受けて聯絡會を組織することは昨紙所報の如く

現在の

模倣では前

各校に

通じ先々に

誘ふことも兒童を職業意識を起さしむる上に於て全然効果なしとは云へないが希望職業に應じて紹介せるものが概して成績がよいので兒童の

希望を

基礎として

之れに導くべく學校の休暇を利用して實務の研究即ち官社工場商店等の見学による兒童の自己發見を必要とする學業に差支なき限り此の實施を學校當局に

當局に

望まれてゐる

而して就職後の保護指導がまた頗る肝要であるに拘らず從來學校側では職業選擇に就ては専ら指導の位置に立ちつゝあるも就職後の指導例へば曾て

兒童が

學んだ學校 長や受持教員から發せられ

の慰撫督勵の書信の如き紹介所は可也に之れを懇切に行つてゐるが學校側でも協力してもらひたいと語られてゐる

平の人事

出生

平町字鎌田町一六號岡金太郎庶子 女靜枝一月十五日午前六時 平町接道小路三高橋留三郎一女子

▲死亡 平町字長松町三六鈴木正秀(七九) 一月二十七日午前五時 平町字二町目二六淺川タケ(六五) 一月廿四日午後三時

磐城炭礦の高坂坑が 炭柱拂に椿事を起す

大落磐の爲め五名慘死

石城郡内郷村の磐城炭礦高坂坑内に於て廿七日午前二時十分頃同坑上層左三坑(地下約三百尺)の個所に於て坑夫十餘名が炭柱拂ひに作業中大落盤の爲め

逃り出

した數名を

除く八名の生死不明となり同坑では全坑の作業を廢してこれが救助に努めたが三名の生存を見たるのみで遂に五名の死者を出した未だ

死体を

発見されぬ

二名を探してゐる尚ほ此の椿事に對して同坑では慘死者の遺族慰籍料その他に就き相當の給與をなすべく協議中であつて死傷者の氏名は左記の如くである

石城の買上米 移出完了

全部で二千 百九十八俵

石城郡からの政府買上應募 全部で二千 百九十八俵

米は總數二千百九十八俵で平殺檢支所は此の移出檢査に忙殺されてゐたが去廿七日平窪村に於ける百六十八俵の移送を以て全部完了した同村米は九種一八長種四五俵で五等一二五等四六俵の成績であつた

平署管内の 變死者

昨年中に於て 一百二十八名

平署は管内に多くの炭礦を所在する關係で變死者數を縣下一と云はれてゐるが昨五年中の同檢視人員は百二十八名で歴死男三十名女三十名女三名及び前年一月早々入山採炭が四名の死者を出した爆發死男一八名等何れも炭礦に屬するもので其他の死者を上れば左記の如くである

▲溺死男七、女八、倒死男五、自及男三、女一、総死男一二、女三、總死男五、女三、其他男一七女三(以上)

經濟をよくせんには社會全紡績會社が弱つてゐる原因動めてゐる人の給料や賞與體の經濟をよくせねばならぬといふこと理解が進むものからである、國と國との間ばかりではなく農村のてはあられもない、自分の經濟を良くする爲には同時に社會の多數の人々の經濟を無視することは出来ぬ此の相聞關係をハッキリ理解せねばならぬと思ふ

庶業

技術員の

設置奨励

石城郡担任 橋本市二... 窮乏疲憊の農村をして蘇...

農業の経営はまさに窮乏... どの底に陥つてゐる、然...

益は有形無形決して少いも... (地方自治の意義二三)

看護婦 看護の求めに... 平看護婦會

院醫沼藤 電話七〇五番

冬物入荷 伊関呉服店

警城 病院案内 本院は時局に鑑み入院料... 内科 小兒科 産婦人科

鶴印 大鶴菓舗 電話九七番

ふゆの通學服 断然特賣の超尖端 小學生用長ズボン付

味噌醬油 正宗 山崎會社 電話 醸造部 二七番

遠藤活版所 電話二七七番

伊関呉服店 冬物入荷

玉屋洋品店 平町四丁目 電話五六番

アイヨール錠 恐怖時代の 動脈硬化症 預防及治療新藥

安流丸 諸毒下シの大妙藥 特約 山野邊藥局